

# MAKOTO

YOUNG BUDDHIST ASSOCIATION MAGAZINE

no.154

出  
遇  
う。



出  
遇  
う。  
。

ひとりは気楽でいい  
誰からも干渉されず 押しつけられず  
伸び伸びと ただ自分のままに  
今日を思うように 生きる

でも ホントにそう？  
自分ひとりで 生きてきた？  
誰かに 居て欲しくて  
ずいぶんと 泣きじゃくって  
私はここにいるんだと 背中を訴えて

そんな私を そっと包むぬくもり  
あたたかさに抱かれて 気づくこと  
ひとりじゃ決して 言えない言葉  
「あなたがいてくれて ありがとう」

そう 私たちは誰だって  
ひとりぼっちじゃ 生きていけない





# Do you know 寺コン?

特集  
出会う。

「寺コン」ってなに？  
「寺」を知りたいのよ……  
「てあ」と「を」を求めて  
昔者たひらひらかおあつてい  
「婚・活・恋」であめ  
おせよこい  
ゆりたりていかにあつてい  
あめりていりていりていり  
素敵な時間の中で  
素敵な縁を広げよう  
この写真は  
鳥根県で撮られた  
寺コンの  
婚・活・恋・あつてい  
あつてい  
あつてい  
あつてい



# 島根の寺コン



お寺ラテ  
お寺で買ったご  
8/27(土) 13:30-16:00  
お寺で買ったご  
お寺で買ったご



本堂にオシャレなカフェスペースがある  
蓮歌寺さん。SNSを使って遠近各地か  
ら初めてお寺に来た人もいます。参加者  
はラテアートと抹茶アートを体験しなが  
ら「出遇い」を深めたよ

It's Cool!!



夜はお寺にDJと  
カクテルが出現!  
素敵な寺空間へ  
なんと、バーテン  
もDJもお坊さん



ひとりじゃ  
ないよ

# 大人の修学旅行



大人の修学旅行  
10/7(土)-10/8(日) 日曜限定イベント  
お寺・ラテアートで重  
まっていた者を中心に、10月  
には仏書中田大会とし  
て「大人の修学旅行」を  
企画。しざーくフラット、  
マクカフ作り、カット  
タイ体験、BBQという  
修学旅行のような体験を  
通して、さらにご縁を深  
めました



参加者から「もっと仏教の話  
を聞きたい」との声も。仏教  
入門としての寺コンもあり!

# Do you know 寺コン?

寺コン  
ないよ



# 寺コン



朝のスタートは山口別院。  
男女別にスタッフから1日  
のスケジュールなど説明。

# お寺でむすぶよいこ縁

バスに乗って約2時間。まわりで参加者同  
士の自己紹介もすつかり終わって、到着  
したのは雑居のまです知られる城下町萩。  
運行寺さんで精進料理のお接待を受けま  
した。お料理美味しすぎです。



# お見合いバスツアー中



午後は萩の城下町をウォークラリー。地図をたよりに  
チェックポイントを探し決められたポーズで写真を撮  
ります。自然と会話も弾み楽しそう



最後は再び山口別院  
に戻ってそれぞれ好  
きな飲物でフリータ  
イム。お互いにスマ  
イルで挨拶交換。7時  
間の寺コンが終わり  
ました。参加者同士  
で夜の町へ。じつと  
り仲良くなるための  
「出遇い」でした。

特集  
出遇う。

特集  
出遇う。



私たち、寺コンがご縁で結婚しました♥



熊本県の剛さんと真理子さん

ひとりじゃないよ

Q. どうしてお寺の婚活「寺コン」に参加されたのですか？

剛 「以前から寺コンが開かれたお寺とは別のお寺の仏教青年会に携わって、そのお寺の人から勧められ参加しました。」

真理子 「私はお寺の住職が家にお参りに来られた際に、寺コンを勧めてください、お母さんの後押しもあって参加しました。それと、お寺で開催されるという安心感もありました。」

Q. 多くの参加者の中から、お互いが惹かれた何があったのですか？

真理子 「最初に剛さんと話をしたのはトイレ待ちの時でした。(笑) だいたい一通りの人とお話ししたかなって時に、剛さんが仕事で遅刻して来て、それが逆に目立ってあの人が話してないなって気になりました。それで、トイレ待ちの時にお互い挨拶して、趣味がサッカー観戦で、剛さんはフットサル

をやっていたのがわかって、それから意気投合しました。」

Q. で、その後お付き合いが続いた？

剛 「たまたま二人の仕事の休みが合う時期が1ヶ月ほど続いて、その間に二人でカフェ巡りをしたりして、色々話せる時間を持てたおかげで、お互いを知ることができました。」

真理子 「そのときですね。熊本県の10万ドルの夜景が見える場所で剛さんから告白されて交際がスタートしました。」

Q. 結婚のキッカケは？

真理子 「付き合いたって同棲しようかって話がありました。でも親からは、籍を入れるまで一緒に住むことは許さん！と言われてしまっ……」

剛 「私はそれを聞いて、じゃあちゃんと籍を入れて一緒に住もうって提案したら、話はトントン拍子に進んで、結婚することになりました。(笑)」

特集 出遇う。

彼國の便り

「出会い」と「出遇い」



法話 山之内浩乗  
仏書連盟指導講師

私のお寺は、子ども会を修了した会員を中心に、仏教青年会(仏青)を組織しています。会員みんなが知り合っているので、役員会や例会ではワイワイガヤガヤと、とにかく楽しそうです。

その中にK君という子がいました。彼はムードメーカーで、いつも会の中心人物でした。そのK君が、3年前、交通事故で亡くなったのです。仕事帰りの出来事でした。

みんなでお通夜にお参りした後、一人ふさぎ込んでいた仏青会員がいました。話を聞いてみますと、彼は、「K君が亡くなる前日にK君とケンカをしてまだあやまつていない」と、今もなお、悩み続けている事を、私に打ちあけてくれたのです。

私は、「人間として生きていくという事は、腹が立つ事や、いやな事もいっぱいあり、それによってケンカをする事もあるでしょう。でも仏様の世界(お浄土)は、そのはからいを越えたお慈悲の世界です。お

浄土に生まれ、仏様になるという事は、ただただ私たちの幸せを願うだけ、阿弥陀様とともに、すでに私のところに、はたらき続けているんですよ。」とやさしく語りかけました。

その後、K君との別れを縁として、彼ははじめ、仏青会員は、お寺に来ると、必ず本堂にお参りする様になりました。忘れていた子には「仏様への御挨拶を忘れているよ」と誰ともなく声がかかる様になったのです。悲しみを縁として、理屈ではなくK君を感じる事の出来る世界、お浄土があったんだ、お浄土で待っている友がいるんだと会員が出遇ったのではないのでしょうか。

「出会い」は自分が会おうという目的を持って出会う事です。一方「出遇い」は自分の思いを超えたはたらきたまたま「出遇う」ことを言います。お寺でたくさん行事が企画され「出会い」を重ねる中で、お念仏のはたらきに「出遇い」たいものです。

特集 出遇う。



広報の会議にも出たい。当日も現役  
伝青とも交流したい、OBからも学  
びたい。50周年という事で参加対象  
を広げためのジレンマでしたね。

● やってみて、何か手ごたえのよ  
うなものを感じた点ありますか？  
「温故知新」をテーマに、伝青に関  
わった人を対象に大会を行ったこと  
で、同窓会の要素、OBが今の伝青  
に期待することが理解できた点や、  
全国で伝青に関わってくださって  
いる方が大勢いることが分かった点に  
おいては手ごたえを感じています。

● 大会のねらいは？  
「OBの方がたも楽しんでもらい、  
現役メンバーにも何かの「気づき」  
がある大会にする事を意識しまし  
た。」

● いま改めて振り返っていかがで  
すか？  
「全国大会が3年に一度となり、全  
国から集まった門徒中央委員10人へ

と組織変更をして初めての大会でし  
た。また大同窓会も同時開催と初め  
て尽くしの大会となりましたが、今  
後の大会の方向性や大会のめざすも  
の、新体制の中央委員の役割を知る  
きっかけとなった気がします。」

● 今後の展望をお聞かせください。  
「伝青の魅力は、活動される個々に  
よってそれぞれ違った意味を持つと  
ころだと思っています。例えば「テ  
ニスサークル」に加入した場合「二  
又をすすむわけですが、伝青の場合  
「お寺」というキーワードを中心に、  
その人その人にとって色々な意味合  
いを持つていいと思います。人に  
よっては「伝青」居場所」かもしれ  
ません。「伝青」自己研鑽の場」か  
もしれません。また「伝青」出遇い  
は若者にとって必要不可欠な存在だ  
と私は思っています。この伝青を次  
の世代へ残す、この伝青を一人でも  
多くの人に知ってもらう事が大切で  
す。」



「伝教青年連盟結成50周年記念の集い」を振り返って  
**松本光生実行委員長に聞く**

● 今回の集いで大変だった点は？  
「組織の形態が変わって門徒中心の  
メンバー構成になったこと、かつ少  
人数スタッフでの試みだったところ  
ですね。」

● 当初のビジョンを教えてください  
「参加人数が少ないではなく、  
内容が大切な事は承知の上でも、や  
はり参加人数にはごたわりがありま  
した。」

● 門徒会員のみの実行委員でやりつ  
らい点がありましたか？  
「特にはありません。メンバー全員  
熱い思いを持って全国から集まって  
くださったので、やりやすかったです。」

● では逆に、躍進した点は？  
「怖いもの知らずというが、これま

での規定路線みたいなのがなかった  
ので、過去にとらわれず白いキャン  
パスに絵を描くようにできたことだ  
と思います。」

● 思い出深いことは？  
「50周年記念大会ということで、過  
去の資料に目を通し歴史を辿る中  
で、先輩たちが伝青とどのように関  
わってきたのか、さまざまな想いに  
触れたことです。」

● 楽しかったことは？  
「企画から当日の運営まで、集まる  
時は時間をとられ大変ですが、集  
まった数だけスタッフ間の絆も増  
え、笑顔も増え、楽しかったです。」

● つらかったことは？  
「体が一つしかないことですかね。  
(笑) 準備では企画会議にも出たい、





2015.4 → 2018.3

1065日・26280時間

1576800分・94608000秒

たかが3年、されど3年、長いようであつという間の3年間  
時間の長さだけでは計れない、仏青中央委員としての3年間  
まったく知らない者同士の人生がクロスした不思議な3年間  
任期満了につき、もうそろそろ、終わろうとしている3年間  
3年間ありがとうございました、3年間おつかれさまでした  
この3年間をちょっと振り返ってみてもらってもいいですか



仏教青年連盟中央委員長  
第2ブロック代表 高岡教区  
**松本 光生**

3年間の任期が今終えようとしています。  
仏青と出逢い10年が経ちました。  
私が仏青と出逢ったきっかけは、中学高校の親友「藤永誠君」でした。彼の「光生、京都に来なよ！」と全国大会の参加を呼び掛ける一瞬の電話が僕の人生を大きく変えたと言っても過言じゃありません。  
仏青と出逢い、多くの友達が増えました。  
仏青と出逢い、多くの経験をしました。  
仏青と出逢い、多くの喜びと手紙をもらいました。僕の人生をも豊かにしてくれている仏青に感謝。  
僕と出逢った一人一人に感謝。  
仏青とのきつかけをくれた藤永君に感謝。  
彼の向かい一本の電話の機嫌に、また仏青と出逢ってない人に仏青を知ってもらいたい、触れてもらいたい。そんな想いで中央委員長を引き受けました。想いだけが先行し至りもしましたが、多くの先輩方、指導講師の先生方に助けられました。  
仏青の改革、広がりはまだまだ道半ばです。  
これでも色々な形で恩返しできたら幸いです。  
本当にありがとうございました。



仏教青年連盟中央副委員長  
第3ブロック代表 奈良教区  
**栗山 佑香**

3年間お疲れさまでした★  
仏青中央委員では副委員長、また広報教材委員では委員長を務めさせていただきました。副委員長はともお偉いさんみたいですが、お寺のことは右も左もわからないし、仏青以外ではお寺に携わることはありませんでした。  
そんな私がこまごまですごく楽しくやっていたのは、中央委員のみさん・指導講師や事務局の方々のおかげです。  
3年間の中で一番印象的なのは、やはり50周年記念の集いです。Oからのスタート。ああでもない、こうでもない、もっとこうしたい！など話をしていく中で、決まりだしていく企画が、当日たくさんの人を笑顔にすることができるとも嬉しかったです。開会式では司会も務めさせていただきました。自立したがりの私にとつて、とても貴重な経験でした。  
このご縁をこれからも大切にしていきたいです。本当にありがとうございました。中央委員最高！ではまた逢う日を楽しみにしています。



仏教青年連盟中央副委員長  
第4ブロック代表 安芸教区  
**濱本 信太郎**

刹那的な3年間でした。これまでより任期が長くなったにも関わらず、過ぎ去る時間の速さと、やり残した事はあまりにも大きかったと思います。ですが、少しずつ仏青の活動が良い方向に変わり始めたことは、この3年間で確実に感じています。私は今期で任を降りますが、地方から中央をずっと見守っております。  
兼好法師の教えに、仏青活動を行う上で一つの指針となる言葉があるので、末期の委員さんにお伝えしたいと思います。「身を正しく、心（組織）を保つためには、どんなやり方をしたら、たちまち衰退しちゃうかを予測し、その行動は行わずに、たとえわずかでも衰退するのが遅くなるような行動を行うのがよい。（徒然草より）私たちの大好きな仏青が衰退せぬよう、さらなる発展を遂げられるよう、お力添え下さい。  
最後に、この場を借りて今期委員の皆様にお礼を申し上げます。3年間ありがとうござい。みんな愛してやばい。



仏教青年連盟中央委員  
第5ブロック代表 熊本教区  
**古関大誠**

3年間を振り返って、中央委員をさせてもらって感謝しています。中央委員関係の方々、連絡協議会50周年大会を通じて沢山の方たちと出遇いました。また、そこからご縁でイベント等にも参加し、とても充実した3年間を過ごしました。

普段の生活では決して出遇ったことのない沢山の方々とお出遇い、自分自身を見つめなおすこともできました。自分ももっとやろうってエネルギーをもらってまた頑張りました。

中央委員や一任期中に何が出たか分かりませんが、これから先、この3年間で経験させてもらったことをもとに、仏教青年会がもっと盛り上げていけるようやっていますよと思っています。3年間ありがとうございました。

長いようでもあり、またあつという間でもあった私の中央委員としての3年間がもうすぐ過ぎ去ろうとしています。

右も左も分からない中で多くの友だちに出会えたこと、なれたことに感謝しております。

たくさんのお出遇いがあり、共に笑い、長い時間対話し、ひとつの方向に向かっていく難しさを知り、時に涙し、また別れも...

様々な経験をさせていただけただけで大変貴重な3年間でした。いままではありがとうございました。

合掌



仏教青年連盟中央委員  
第1ブロック代表 北海道教区  
**高井道雅**



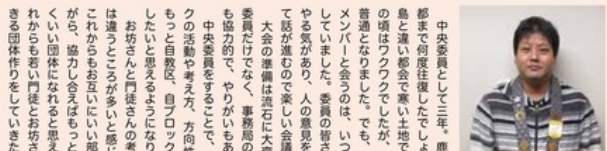
仏教青年連盟中央委員  
第4ブロック代表 福後教区  
**池上龍之介**

最初は右も左もわからんまま入った仏青も全国のみんなとご縁ができ、サイコー尽くしの3年間でした。「みんなとワイワイ飲む宴会もサイコー」「宿泊先で親睦を深めるのもサイコー」「みんなで作ったあげたイベントもサイコー」すべてが最高で一す！！

まあ、そんなこんなで楽しかったです。来期もおるんじゃけど、とりまほいじゃーね！みなさん、さようなら。



3年間をともに過ごした仏青連盟事務局＆ゆかいな仲間たち

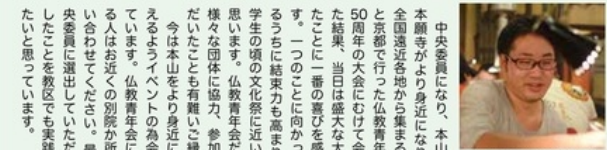


仏教青年連盟中央委員  
第5ブロック代表 鹿児島教区  
**幸本直之**

大学生活と併せて務めるといことは、最初抵抗があり、続けられるだろうかという不安でいっぱいでした。何しろ、他の委員の方がたは自分より年上ばかりで、それだけでも自分は浮いてないかと思うほどでした。

2年目の記念式典を催すにあたって、1年目からいろいろ議論をしていましたが、やはり自分の思っていることを口に出せなかったり、分からないうことがあったり、悶々とした気持ちでいっぱいでしたが、このように無事に3年間過ごせたことは、他の皆さんのおかげだったと思います。

3年目の今の気持ちで、もう少し最初から聞かれたら良かったなと、後悔もしています。



仏教青年連盟中央委員  
第3ブロック代表 滋賀教区  
**高岡充基**

中央委員になり、本山である西本願寺がより身近になりました。全国遠近各地から集まる中央委員と京都で行った仏教青年連盟結成50周年の大会にむけて会議を重ねた結果、当日は盛大な大会となったことに一番の喜びを感じています。一つのことに向かっ活動するうちに結束力も高まりました。学生の頃の文化祭に近い経験だと思います。仏教青年会だけでなく様々な団体に協力、参加していただけたことも有難いご縁でした。

今は本山をより身近に感じて責めるようなイベントの機会を重ねています。仏教青年会に興味のある人はお近くの別院や所屬寺に問い合わせてください。最後に、中央委員に選出していただき、経験したことを教区でも実践していきたいと思っています。



仏教青年連盟中央委員  
第2ブロック代表 東海教区  
**小林大輝**

仏教青年連盟に中央委員があることすら知らなかった私ですが、3年間を振り返ってみて感じたことは「やって良かった」です。任命されてからしみじみ「あれ、今更だけど始と仏青の事分かってないや」と思っていたのです。しかも、組織の改革初年度で「門徒だけの中央委員」やら、「仏教青年連盟50周年」とか何が知識も経験も無くノーガード過ぎて、内心笑うしか無かった。

そんな私でしたが全国から集まった中央委員の仲間たちに支えられ、西本願寺と共に真剣に笑い、時々悩み、そしてまた笑いながら過ごせた時間はずっと忘れないですよ。

今後中央での経験を種に仏青活動に関わっていきたくと思っています。ご縁をいただいた皆様方、本当に有難うございました。

南無阿彌陀仏 合掌



仏教青年連盟中央委員  
第1ブロック代表 東京教区  
**野田豊**



A young man with dark hair, wearing a grey hoodie, blue jeans, and red sneakers, is sitting on a thick, moss-covered tree branch. He is looking upwards and to the right. The background is a dense forest of green trees with some pink flowers visible. The overall scene is peaceful and natural.

君がいてくれて  
ありがとう

MAKOTO no.154

浄土真宗本願寺派 仏教青年連盟機関誌 2018年1月1日発行  
編集 / 発行：仏教青年連盟 広報教材委員会 〒600-8501 京都市下京区畑川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派 宗務所内 TEL：075-371-5181(代)



## Makoto No.154

<http://p.booklog.jp/book/122293>

著者 : bussei

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/bussei/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/122293>

電子書籍プラットフォーム : パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社トゥ・ディファクト